

第2回例会

一般質問から



会派みどり
小野 保之

街路灯のLED化について

質問 街路灯のLED切り替え促進による電気料の減少額とLEDの切り替え率は。また、すべてのLED化は何年に終わるのか伺う。

答弁 平成26年度からLEDへの切り替えを進めており、今年度の切り替え工事終了段階でおおむね50%と見込んでいます。電気料金の補助も26年度と29年度の予算比較で500万円くらいの減額となり電気料金の節減の効果を上げています。電気料金の節減効果が町内会に浸透し、26年から毎年1、000灯の要望があり、そのうち7割をLEDに替えてきました。今年度は要望が900灯、補助対象灯数が約半分になりましたが、理解と協力を得ながら限られた予算の中、切り替えを進めていきたいと考えます。

パークゴルフ場について

質問 市長公約の一つのパークゴルフ場が7月1日にオープンします。①仮オープン時における苦情や意見について、②コース以外の意見や要望の把握、③来場者の市内外のデータ把握、④交通、案内表示対策、⑤トイレの台数、⑥ベンチ周りの改善、⑦各大会の予約状況など、オープンに向けた課題認識と調整が重要と思うが考えを伺う。

答弁 ①②直接の会話で感想を聞き、アンケートを実施。想定外のことも多々ありますが、順次可能な範囲で対応しています。③運営に活用すべく収集蓄積しています。④案内表示は予定どおり進め、市道は対応中です。⑤河川敷地の制約はありますが、大規模大会には臨時増設も検討します。⑥水筒をかける台を設置済みです。⑦各団体の月例会や旭川などからの団体予約があります。また、接客対応、コース管理は好評をいただいております。7月からの有料化に併せて利用券売機設置など、よりスムーズに細かな利用者対応を行っていきます。



会派清新
柴田 文男

滝川市「生涯活躍のまち」基本計画について

質問 関連する事業のほとんどは、非営利事業であり、事業主体をどうするかが問題。どのような事業主体をつくるつもりか伺う。

答弁 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が公表している生涯活躍のまち構想に関する手引きによると、民間企業や医療法人、社会福祉法人、大学や社会教育施設、NPO、まちづくり会社など、多様な事業主体が運営推進機能を担うことを想定しています。

本計画案では、優先的に取り組むべき事業を絞り込み、営利事業・非営利事業の組み合わせも考慮しながら、事業者が主体的に参画・連携できる土壌づくりを進めたいと考えております。

質問 本計画は、まさに「田園都市型CCRC構想」と言え、まち全体を生涯活躍の場とするものであり、市の力だけで及ぶものではない。

現状での国の支援策について伺う。

答弁 ご指摘のとおり、本計画のように対象エリアがまち全体に及ぶ場合に、各事業の展開にあたっては国からの財政支援は欠かせないと考えています。

計画案の事業には、介護保険事業で実施するものも含まれていますが、事業内容に応じて関係省庁の各種支援制度や地方創生推進交付金の活用を想定しています。

事業の効果的な絞り込みと有利な国の支援策の発掘に必要な財源の確保に努めたいと考えます。

学校施設の建て替え事業等の取り組みについて

質問 今後、老朽化した校舎の建て替え等が必要とされるが、調査・検討の詳細を伺う。

答弁 現在、文部科学省からの通知を受け、老朽化状況の調査を行っています。

今年度「施設整備方針」の策定を予定しており、国の要請を受けて平成32年度までの個別施設計画の策定にできるだけ早期に取り組みたいと考えています。